

かねさわ

金沢学区コミュニティ推進会

第153号

令和5年1月1日

企画・編集：広報部 発行責任者：泉 聡二
事務局：Tel(36)3985 Fax(36)2677
メールアドレス：c-kanesa@net1.jway.ne.jp
ホームページ：https://c-kanesa.org/



令和5年を迎えるにあたって

「自分の地域は自分の創意と努力でつくりあげる」を目指して

金沢学区コミュニティ推進会会長 泉 聡二



新年あけましておめでとうございます。令和5年の新春を迎え、金沢学区コミュニティ推進会の皆様のご繁栄を心からお慶び申し上げます。また、あわせて日頃の活動に対しご理解とご支援・ご協力に深く感謝申し上げます。

金沢学区コミュニティ推進会では、「自分の地域は自分の創意と努力でつくりあげる」という基本理念を住民の皆様と共有できるよう、広報紙など様々な媒体をとおして情報発信していきたいと考えております。また、新型コロナウイルスをはじめ、環境が大きく変化している中で、一人暮らしの高齢者の見守り、いつ起こるかわからない災害への対応など、地域における課題が年々複雑化しており、金沢学区においても例外ではありません。本年は、日立市コミュニティ活動推進計画が策定され、8つの具体的

な推進事項が制定されます。金沢学区としても令和5年から令和10年までのコミュニティプランを制定してまいります。行政と連携しながら、様々な地域課題の解決、そして持続可能なコミュニティ活動の実現に向けた取組を進め、住みよいまちづくりに取り組んでまいります。

最後に、皆様とご家族のご隆昌とご健勝を祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。

令和5年は「卯」の年

令和5年は、「卯(うさぎ)」年です。経済界では景気が上向き回復すると言われ、縁起の良い年として受け止められています。また、卯は温厚な性格であることから、「家内安全」・「飛躍」・「向上」の象徴として親しまれてきました。今年は、新しいことに挑戦する年にしたいものです。



「生活安全のつどい」実施！！

秋晴れの10月23日(日)、3年ぶりに「生活安全のつどい」が開催されました。しかし、日立市消防署の指導による訓練は、感染症対策のため、行われませんでした。避難訓練は、8時50分の防災行政無線の放送により開始されました。支部ごとに一時避難所に集合し、避難者誘導・被害状況調査・本部への報告等を行いました。本部からは、余震・火災の恐れがなくなったとの連絡を受け、避難訓練は終了しました。

一方、金沢交流センターでは災害対策本部を設置し、

コロナ禍における避難所を開設する訓練を行いました。金沢南支部の方々は金沢交流センターに避難し、検温及び体調の聞き取りを行いました。さらに決められたスペースに誘導する手順、そして避難者チェックリストの確認をしました。同時に地域モビリティを利用した避難行動要支援者の避難訓練・電話による安否確認を行いました。

最後に日立市防災対策課から講評をいただき、閉会しました。この訓練を通して、心の避難スイッチをオンにする心構えを共有しました。(生活安全部)



「くさゼロの日」・「一斉清掃」

日立市コミュニティ推進協議会は、ごみのポイ捨て禁止・環境美化の意識向上を目的に、9月30日(金)を「くさゼロの日(930)」として啓発活動を推進しています。金沢交流センターでは「一斉清掃」時に実施しました。数十名でグラウンド及び周辺裏庭等の除草作業を行い、45リットル20袋と70リットル17袋分の草を収集しました。ご協力ありがとうございました。

なお、市では作業写真を集め、「くさゼロの日」のモザイクアートを製作する計画があります。

金沢交流センターの一斉清掃は、年2回実施して

います。各利用団体・金沢学区コミュニティ推進会・各支部代表が参加しました。作業内容は、天井・壁のすす払い・窓拭き・床のワックスがけ・各機器の清掃・グラウンド周辺の除草等です。今回の参加者数は67名(参加率84%)でした。感謝申し上げます。今後とも積極的なご協力よろしくお願ひいたします。



「環境の日」の取り組み

10月9日(日)に学区内清掃活動を実施しました。総勢910名の参加をいただきました。感謝申し上げます。

今回の「環境の日」への各支部の取り組みを紹介します。(敬称略)

【金沢南支部長 白石 廣彦】

地域を美しく保つ活動は、住民の団結力と参画意識を高め、環境美化と地域コミュニティの連携を促します。

自らの地域を自らの手で守る文化を、大切にしていきます。

【県営根道支部長 安見 聡司】

空き地や公園の清掃・除草が行われました。きれいになった町内を見渡し、「環境の日」の在り方を考え、今後も継続していく必要性を痛切に感じました。

【大沼支部長 鈴木 正雄】

私たちは、自宅周辺・生活道路・ゴミ集積所を重点的に清掃しました。「地域を少しでもきれいしよう。」

これからも皆様と協力して続けていきたいです。

【根道ヶ丘団地支部長 井坂 郷】

団地内の公園や住宅周辺の除草とごみ拾いを行いました。参加された方々のおかげで、きれいな住みよい環境となりました。

【台原団地支部長 佐藤 恵】

公園の除草や空き地の側溝の落ち葉の除去をしました。月一度の清掃では、手が届きにくい箇所を重点に置きました。多数の方々の協力を得ました。

【旭ヶ丘団地支部長 星 康文】

公園の除草を行いました。多数の参加をいただき、感謝申し上げます。また、日頃より有志の方に公園を整美していただいております。御礼申し上げます。

【金沢団地支部長 福島 浩】

参加者の高齢化と減少が顕著のため、公園の除草が課題です。刈払い機2台を購入し、前日は自治会役員と有志が除草し、当日は草の収集と二部制で実施しました。参加率の向上に努めたいです。

金沢小3年生との「ふれあい交流会」

11月18日(金)、金沢小学校の体育館において、ボランティアふれあい活動部を中心とした地域の人々と金沢小学校3年生との交流会が開かれました。

小学生代表による歓迎の言葉、歓迎ダンスの後、記念写真を撮影してから、コマ回し・ベーゴマ・輪投げなどを行いました。

3年生は、令和3年に「まちたんけん」で交流センターを訪問していましたので、すぐうちとけて、一緒になって「むかし遊び」を楽しみました。2時間という時間があっという間に過ぎ、楽しい時間を過ごすことができました。

(ボランティアふれあい活動部)



ダンスで歓迎



よろしくお願いします

あいさつ声かけ運動

コロナ禍で、中止されていた「あいさつ・声かけ運動」が、青少年育成部を中心に、3年ぶりに復活しました。11月の火曜日と木曜日に、金沢学区自警団・民生委員の皆様の協力を得て、金沢小学校正門、台原中学校裏門で行いました。校長先生や教頭先生が見守るなか、小学生のなかには、寒い中でも薄着で元気に登校する児童や元気よく走ってくる児童、そして大きな声で“おはようございます”とあいさつする児童が小学生に見られました。足を止めて“おはようございます”とあいさつしてくれたのは中学生たちでした。

中学生になると、持ち物が増え、重そうに見えました。立哨している私たちも、子どもたちの元気なあいさつで、一日の元気をもらいました。地域の方々からは、「道ですれ違った時に子どもたちから挨拶されるようになりました」との声が聞かれ、あいさつ運動の大切さを実感しました。今回の「あいさつ・声かけ運動」が子どもたちの健全育成に役立てばと願います。

(青少年育成部)



さわやかな一日のスタート



元気に「おはようございます」

第40回 住民文化祭 力作ぞろいの作品を鑑賞、催事コーナーで買い物

地域の皆様のご支援とご協力のもと、第40回住民文化祭を、金沢交流センター全館を活用し、開催しました。

「住民相互の絆を深めれば、ホッとする・楽しい・希望が湧く」をモットーに親睦を深める2日間、多くの来場者でにぎわいました。

当初は飲食の催事も計画していましたが、感染が拡大傾向にあったため、中止としました。開催に際しては、最大限の感染症対策を講じました。11月12日(土)・13日(日)の両日で、648名が来場しました。出展作品の前で、お互いの作品への思いを語り合い、談笑されている姿を見て、本行事の趣旨に沿ったものとなり、明るく住みやすい地域づくりを目指した文化祭になったと思えました。「子どもたちのチャレンジコーナー」や「駄菓子屋さん」は好評でした。2団体による「バザーコーナー」も大盛況でした。初日の「健康測定会」では列ができ、健康への関心の高さを肌で感じることができました。「野菜の販売」では例年より多くの商品が並び、大繁盛でした。

参加出展者は、個人・一般団体・教育団体・学区内核施設から8グループ(250名)、作品数364点を出展いただきました。盛大に住民文化祭を開催できましたことに御礼申し上げます。



出展作品の各賞は以下の通りです。(敬称略)
 金沢学区コミュニティ推進会長賞
 「ギアナ高地山頂」：瀬ヶ沼きよみ 「太陽に照らされた木」：高萩高校2年 石坂朔羅
 「私とゴーヤ」：金沢小学校4年 鈴木珠莉 「希望」：金沢小学校6年 照沼瑞菜
 文化祭実行委員会委員長賞
 菊花：鈴木進 松かさアート：新開良明
 「私の世界」：台原中学校3年 渡邊咲来 「輝く水路」：高萩高校2年 添田ゆめ

和室展示コーナー

和室では、台原中学校生徒・金沢小学校児童・まゆみの里保育園児、はなやま認定こども園児、そして学区内の高齢者福祉施設の方々から多数の作品が展示されました。また、菊の展示に圧倒されました。

多目的ホール展示コーナー

多目的ホールでは、個人・各団体の皆様から、絵画・絵手紙・色鉛筆画・写真・手芸・彫刻・工芸など1年間のご苦労と楽しみの詰まった作品が展示されました。

野菜・花苗販売コーナー

新鮮な野菜の販売

サクラソウの苗を配布

「日立再発見ウォーク」開催！

金沢学区では10月22日(土)に日立市コミュニティ推進協議会で企画された「日立再発見ウォーク」を5年ぶりに開催しました。再発見ウォークは学区内の旧所、名跡を訪ねる企画です。金沢学区から7名、他学区から8名が参加し、スタッフ5名が同行しました。覚念寺～伊勢神社～山側道路～大山祇神社まで6kmの道を地域モビリティとウォークを併用して探索しました。覚念寺では茨城県の重要指定文化財指定されている聖徳太子坐像を見学、大山祇神社では、愛媛県の本社及び神奈川県の大山祇神社の歴史も勉強しました。また、本事業を機会に予約により学区内モビリティウォークとして随時運行します。

(総務部)



午前の部 参加者



午後の部 参加者

金沢学区地域モビリティ実証事業「試乗・意見交換会」開かれる

金沢学区地域モビリティ部では、10月12日(水)、13日(木)に、日立市都市政策課及び日立製作所と共同で日立市内のコミュニティ推進会に対して金沢学区で実証している「地域モビリティ」の紹介と意見交換会を行いました。

日立市内の山側に位置する塙山学区・諏訪学区・宮田学区・成沢学区等のコミュニティ関係者17名が参加され、試乗をしていただいてから、それぞれの学区の問題点や高齢化と団地の坂道の課題の解決のために意見交換を行いました。課題である高齢化に

対する解決手段としての有効性が議論になり、会員制、予約制、予算に対する質問など、活発な意見交換を行うことができました。

(地域モビリティ部)



グリス回試乗会



熱心な意見交換

いつもありがとうございます「花いっぱい運動」

いつも金沢交流センター周囲は花壇の花が咲いていてきれいですねと褒められます。これは専門部「ふるさと創生塾」(飯村部長)を中心とした「花いっぱいグループ」の人たちがボランティアで2回/月に活動して育ててくれているからです。

春にはサクラ草、夏にはゴーヤ、秋にはコキア、冬にはパンジーが見事に咲きそろっています。

また、秋の住民芸能祭では学区の花である「サクラ草」を育てて希望者に無料で配布する活動もしています。

「花いっぱいグループ」は毎月第2・4日曜日の朝8時半から活動しています。高齢の方が多いですが、「年だから」とつぶやきながらも、「若い者には負けはせん」と会話を楽しみながら、作業に精を出しています。

今後は小中学生～高校生のボランティアによる「花いっぱい運動」も計画します。

興味のある方は金沢交流センター(TEL: 36-3985)まで連絡ください。



しっかり育ててください



愛情をこめて

しっかり観察できました「スターウォッチング」

今年の「スターウォッチング」は、小学生とその保護者49名で開催しました。過去3回は曇天等で星座観察が満足にできませんでした。

今回は参加者の願いが叶い、晴天に恵まれ素晴らしい観察ができました。愛好家の大型天体望遠鏡4台を使って、月・土星・木星・アンドロメダ座・リング座等いろいろな天体を観望することができました。特に、月のクレーターや土星のリングをはっきり見

ることができ、参加したこどもたちは良い経験ができました。
(青少年育成部)



楽しかった「ふれあいボウリング大会」

10月16日(日) K-1 ボウルで「ふれあいボウリング大会」を実施しました。

今回はジュニア8名を含む37名の参加があり、長山想雨さん(8歳)の始球でゲーム開始となり、2ゲームの合計で競いました。ストライクやスペアをとり、周りから拍手で迎えられたり、スプリットが続いて本来の調子が出ない?と首を傾げたりなど、筋書きのないドラマが見られました。特にジュニア8名の活躍が目立ちました。1時間半 楽しく過ごすことが

できました。
最後に集合写真を撮り表彰式をして終了しました。
(レクリエーション部)



ベストコンディションのなか「第4回親睦ゴルフ大会」開催!

立冬を過ぎ、吹く風の中にも冬の気配が感じられる11月11日(金)、グランドスラムカントリークラブにて、第4回金沢学区親睦ゴルフ大会を開催しました。

18名の出場者は、晴天に恵まれた絶好のゴルフ日和でスタートしました。前回同様、新ペリア方式で厳しいルールではありましたが、喜んだり、悔しかったり、笑いあり、涙ありのプレーを楽しみました。

結果は以下の通りです。(敬称略)

- 優勝 ; 五味 伸 広
- 準優勝 ; 那須川 達 仁
- 第3位 ; 斉 藤 智
- B G ; 那須川 達 仁

(総務部)



笑顔あふれる「第20回グラウンドゴルフ大会」

秋日和の晴天のもと、11月19日(土)金沢小学校グラウンドで、「第20回グラウンドゴルフ大会」を開催しました。

65名が16ホールで競技しました。ホールインワンで喜ぶ人、思うようにボールが動かず首を傾げる人など和気あいあいと楽しくプレーできました。最後に、次回の健闘を誓い合い、散会しました。

(レクリエーション部)



令和4年度退任民生委員児童委員

令和4年11月30日をもって5名の民生・児童委員の方々が退任されました。永年に亘って、地域の人たちの見守り活動や生活の相談等をはじめとしていろいろな地域福祉活動に貢献していただきました。長い間、ありがとうございました。



皆川昌吾 様
(台原団地支部)



前野紀子 様
(大沼支部)



清野律子 様
(根道ヶ丘団地・県営根道支部)



大平静子 様
(根道ヶ丘団地・県営根道支部)



諸田なみ子 様
(金沢団地支部)

日立信社会福祉協議会「会長顕彰」

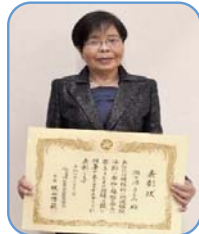
日立信社会福祉協議会「会長顕彰式」で当学区より、3名の方々と1団体が表彰されました。多年にわたり、各行事への積極的な参加など地域に密着した活動を続けてこられました。今後も一層のご活躍が期待されます。



地域福祉局
塚本裕宥 様
(ボランティアふれあい活動部)



地域福祉局
関村栄一 様
(ボランティアふれあい活動部)



地域福祉局
瀬ヶ沼きよみ 様
(あんしん安全ネットワーク部)みまもり強化事業担当



金沢音楽集団
代表 武田康秀 様

随筆

徳川斉昭の感染症対策

昨年大河ドラマ「晴天を衝け」に徳川斉昭と慶喜が登場しています。斉昭と言えば、井伊直弼との政治対立のさなかにコレラの猛威と戦っていました。「コレラ」という病は日本になかったもので、死者は100万人に及んだといわれています。斉昭は手引書を作成し、領民に配り、蔓延を防ぐことに力を注いだといわれています。予防方法は「飲みすぎ、食べ過ぎ、脂分を取らず、よく動き回り、気楽な生き方をせず、筋肉を使い消化をよくするよう心がけよ。消化しにくい食物はとらないこと。」が基本で、住居を清潔にするとありました。効能はどうかわかり

ませんが、病に勝つためには普段から節制と運動が大切ということと捉えます。また、1850年(嘉永3年)痘瘡が大流行し、死者が多数のため葬送の道具がなくなるほどだったそうです。この頃、イギリス製の痘瘡のワクチンをオランダの商館医が持ち込みました。斉昭は直ちに我が子に接種し、安全を確かめ、13,400名に無料接種したといわれています。いつの時代でも時の政治家の手腕が問われます。



(瀬ヶ沼 きよみ)

編集後記 「割れ窓理論」

割れ窓理論(ブロークン・ウィンドウ理論)は、アメリカの犯罪学者ジョージ・ケリングが考案したもので、「建物の窓が壊れているのを放置すると、誰も注意を払っていないという象徴となり、やがて他の窓も間もなく破壊される」という考え方です。1990年代に

ニューヨーク市は、軽微な犯罪を徹底的に取り締まることで、5年間で犯罪数を激減させ、治安を回復させました。安心安全で住みよい環境を構築していくには、先ずは住民一人一人が小さな変化を見逃さず、多くの人々と小さな変化を共有・改善することが第一歩であることを示唆していると思います。

(広報部長 濱田 衛)